

第2回志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会 会議の概要

- 1 開催日時 令和6年12月18日（水）
開会 午後7時00分 閉会 午後8時20分
- 2 場所 やっちくふれあいセンター
- 3 出席者 委員27名（1名 Web 参加）
- 4 欠席者 委員2名
- 5 出席した職員等

教 育 長	福田 裕生
教育総務課長	児玉 雅史
総務施設G L	橋本 淳二
総務施設 GSL	児玉 憲一
総務施設 G	竹井 尚紀
伊崎田小校長	大山 昭二
学校教育課長	淀 修司
総務施設 GSL	奥吉 修也

※ 公開用議事録は、一部修正してあります。

◇ 会議の要旨

1 開 会（午後 7 時00分）

2 教育長挨拶

3 委員長挨拶

4 説明（午後 7 時10分）

委員長

前回の会議やアンケートにおいて、「小中一貫校伊崎田学園の取組」や「義務教育学校と小中一貫校の違い」に関する意見があったため、今回説明していただく。

まず、「伊崎田学園の現状、取組等について」、伊崎田小学校の大山校長先生からお話を聞かせていただくので、よろしくお願いします。

<伊崎田小学校 大山校長先生説明>

委員長

大山校長先生、ありがとうございました。いくつかまとめたいと思うが、小規模の学校になると、先生の数も少なくなるが、小・中学校が一緒になることで、より多くの先生が子供たちと関わってくれるという面があると思った。それから、小学校と中学校が交流することで、小学生が中学校に行ったときに、安心して入れるというのを感じた。また、中学生が小学生の手本となることがあるとのことであったが、中学生が小学生のために何かやろうという気持ちを育て、また自己肯定感の高揚につながることを感じた。小さな学校、少ない人数での切磋琢磨ということもあるが、より多くの人目で、色々な面を見ていけるというところの良さがあると思った。

この伊崎田学園について何か質問等ないか。

委員 A

2年後、分離型から一体型になることについて、メリットは十分あることが分かったが、何か懸念する点はあるか。

事務局

2年後、施設一体型の小中一貫校となる時に、今は学校長が2人だが、学校長は1人になる予定である。また、小、中学校の職員室が一緒になるため、更に職員間の交流を深めておかないといけないというところを、皆で今から準備していないといけないと思っている。子供たちについては、登校時に小学生と中学生が手をつないで来るほど、仲良く交流している状況である。更に施設が一緒にな

ることで、もっと充実が図られると考えているので、あまり懸念はしてないところである。

委員 A

もう 1 点、位置関係について、現在中学校が遠くて、小学校が統合したとしてもその距離感を心配するところだが、どう考えているか。

事務局

通学の距離については、伊崎田は学校に近い子はあまりいないので、歩いて登校する子供は少ない。ほとんどの子供が自家用車で登下校をしているところである。

委員 B

乗り入れ授業の話をされたが、小学校、中学校の教員免許は別で、両方の免許を所有していないとできないと考える。全ての先生がそういった免許保有者であるという認識でよろしいか。

事務局

7 年前から小中一貫型の学校としての伊崎田学園となっており、乗り入れ授業ができるように、非常に手厚い人的配慮をいただいている。

委員 C

小中一貫校での P T A 活動について教えてほしい。

事務局

昨年度から P T A を一本化している。会長 1 人と副会長が小学校から 1 人、中学校から 1 人の 2 人と、書記、会計がいる。小・中一緒の組織として取り組んでいる。

委員長

次に、「義務教育学校と小中一貫校の違いについて」の説明に入る。学校教育課の淀課長に説明をお願いします。

<学校教育課 淀課長説明>

委員長

今の説明について、何か質問等ないか。

次に、「松山地域の学校の施設の現状と整備について」の説明に入る。教育総務課総務施設グループの奥吉サブリーダーに説明をお願いします。

<教育総務課総務施設グループ 奥吉サブリーダー説明>

委員長

今の説明について、何か質問等ないか。

次の報告に入らせていただく。

5 報告（午後 7 時50分）

委員長

前回の会議後に実施した「松山地域の学校の在り方に関するアンケート」結果について、事務局から報告をお願いします。

<事務局報告>

委員長

委員からの質問や意見はないか。

委員D

資料の 8 ページに「通学距離が増えることで保護者の負担が増えそう」とあるが、小中学校が離れていても、分離型の一貫校となる場合があるが、そうなったときに保護者の負担が増えたという情報は持っていないか。

事務局

分離型については、施設が近いところから、かなり離れているところまで色々あり、元々あった学校同士の教育課程を一つにただけで、建物自体は変わっていないので、通学等に関して特に問題はないと聞いている。

委員E

アンケート結果や資料は、それぞれの学校の保護者に公開してよろしいか。

事務局

議事録も含め、アンケート結果などは、ホームページ上で公開するので、持ち帰られて、地域の方等と共有してほしい。データでの提供が必要であれば、連絡をいただければ送ります。

委員長

他にないか。

次に協議に入らせていただく。

6 協議（午後 7 時58分）

委員長

今後の方向性について、事務局の説明をお願いします。

<事務局説明>

委員長

今説明のあったとおり、統合の可否、統合の形態、統合後の学校の位置、統合の時期ということで、今後検討するものとして4つの項目があったが、これ以外のことについて何か検討しないといけない事項などあったらお願いします。

委員F

統合の時期が小学校のみと小中一貫校とで、3年のずれがあるが、これは中学

校も改修すると理解してよろしいか。

事務局

小学校のみの統合は施設改修も少ないので、1年ほどでできるとしているが、実際は時間的に非常に厳しいと考える。一貫校の場合は、中学校の校舎だけでは児童生徒が入りきらず、教室も足りない。現在の校舎を引き続き使えるのか使えないのかの判断をした上で、建て替えが必要となれば建設するが、現状でも教室数が不足するため、新しい校舎を建てていくことになると思う。

委員 F

小学校のみの統合を進めて、後から小中一貫校にするという考えはできないか。

事務局

委員の皆様で、その方が良いということであれば、その選択肢もあるかと思う。そのような意見で集約となったら、それができる方向で考えていく必要があると考える。

委員 G

小中一貫校伊崎田学園の事例も大変すばらしいと思ったところだが、小中一貫校になることで、子供たちの学力が向上するのか。

事務局

現状については、伊崎田小中学校の学力の方は以前より上がっていると思う。全体的に学習指導面、生活面を考えると、将来的なイメージが持ちやすく、中学校に上がる不安面が払拭され、小学生、中学生が近くでお互いを見るため、地域の後輩たちに対する思いや温かい姿がお互いに培われ、それが転じて学力の方にプラス面に及ぼすことが多々ある。

一貫校にすることにより、色々と良い化学反応が起こる。人と人との関わりやコミュニケーションの問題、あこがれる先輩が近くにいたり、手本とならないといけない自分の姿を小学生たちが見てくれるなど、自ずと生活習慣が変わる。またPTAも一本化され、保護者や地域の教育にかける思いが統一化され、そのことが子供たちに反映されてきている状況がある。

委員 G

志布志市は、小中一貫校が伊崎田しかないところだが、学力向上も含めてもっとメリットについて、皆さんに示してほしい。子供たちが、この学校に行ってもよかったねとか卒業してよかったねと思い、また、先生もこの学校に赴任してみたいと思われるような学校になると素晴らしいと思うので、成功事例など出していただけたらと思う。

委員 H

今後の学校の位置についての確認だが、小学校のみの統合の場所については、

どこを想定しているか。

事務局

小学校のみが統合する場合の場所は想定していない。この検討委員会の中で協議していただきたいと考えている。

委員 H

ということは、今の3つの小学校のどこかを使うということでもいいか。

事務局

新しく用地を取得して、新たに小学校を建てることは厳しいと考えているので、現小学校のいずれかになるかと思う。

委員 I

今回2回目の会議も、それぞれの思いを話していただくいい機会になったと思う。ピンチと思わず、チャンスと捉えて発想していただければありがたい。こういう内容は、簡単に決めにくいと思う。人的なことや施設の設備のこと、メリット、デメリットとかを、はっきりと把握してそれぞれの地域で考えていただきたい。また、それらを判断する材料を、事務局には提供していただきたい。伊崎田学園の生徒会の公約は非常に素晴らしいと思った。「教育のまち松山」という理念の議論をしているが、この理念を結実していくと、非常にいい学校ができると考える。設立当初の理念を持続していくのは教育委員会に担ってもらう必要があると思う。今日の資料等をそれぞれの校区で持ち帰って、もう一回考えていただければありがたい。今回の皆さんの共通認識が、できるだけ納得度が高まるような学校づくりであれば素晴らしいと思う。学校を作っていくのは、現状と変わっていくので、少し窮屈に思う部分もあるかもしれないが、それよりもプラスの面が大きいという発想があれば、いい学校づくりにつながると思う。

委員長

確認となるが、統合の可否、統合の形態、統合の学校の位置、統合の時期に関して、それぞれの校区で持ち帰って、検討していただきたい。それを基に次回の会を開ければ、より充実した会になるかと思う。子供たちにとってより良い学びの場となるように検討していきたいと思うので、よろしくお願いします。

事務局

委員長からあったとおり、地域でそれぞれ検討いただきたい。その際、説明等必要な場合は、出向いていき、また、意見の出た様々な資料についても提供するのでご連絡いただきたい。

7 その他（午後8時19分）

<事務局から次回開催の案内>

8 閉会（午後 8 時20分）